



平成 28 年 7 月 25 日
海 上 保 安 庁

日, 加, 中, 韓, 露の5カ国の海上保安機関による多目的訓練に巡視船を派遣
～北太平洋海上保安フォーラム多目的訓練、ロシアウラジオストクで実施～

7月31日(日)巡視船「えちご」は、新潟港を出港し、8月2日～6日までロシアウラジオストクにて実施される、北太平洋海上保安フォーラム多目的訓練に参加します。訓練本番は4日(木)ウラジオストク沖にて実施され、テロ容疑船の捕捉・制圧訓練等を行います。今回は第9回目の訓練となり、テロ対策訓練は初となります。帰港は7日(日)の予定です。

1 派遣巡視船

ヘリコプター搭載型巡視船えちご

船長：宮地拓也（みやじ・たくや）（二等海上保安監）

所属：第九管区海上保安本部新潟海上保安部

総トン数：約3,100トン

搭載ヘリコプター：シコルスキーS76D 1機

2 寄港国（寄港地）

ロシア連邦（ウラジオストク）

3 派遣日程

7月31日(日) 出港式、新潟港出港

8月 2日(火) ウラジオストク港沖において訓練事前打合せ

3日(水) 事前訓練

4日(木) 本訓練、ウラジオストク港入港

5日(金) 訓練検討会、入港関連諸行事 等

6日(土) ウラジオストク港出港

7日(日) 新潟港入港、入港式

4 訓練の内容

①情報共有訓練、②テロ容疑船の捕捉・制圧訓練、③負傷者の救助訓練、④消火・油防除訓練 等

5 訓練参加機関

カナダ：沿岸警備隊、中国：海警局、韓国：海洋警備安全本部、ロシア：国境警備局

北太平洋海上保安フォーラムは、北太平洋地域の6カ国（日本、カナダ、中国、韓国、ロシア、米国）の海上保安機関の代表が一堂に会合し、北太平洋の海上の安全・セキュリティの確保、海洋環境の保全等を目的とした各国間の連携・協力について協議する多国間の枠組みで、海上保安庁の提唱により、平成12年から開催されています。

このフォーラムの枠組みのもと参加6カ国の海上保安機関は、北太平洋の公海における違法操業の取締りを目的とした漁業監視共同パトロールや、現場レベルでの連携をより実践的なものとするための多国間多目的訓練を平成18年以降、年1回の頻度で同フォーラム参加機関が持ち回りで訓練を開催しており、今年の訓練は9回目となります。

また、今後の連携・協力の方向性やこれまでの活動の成果について議論するため、毎年、長官級会合（サミット）と、実務者による専門家会合を開催しています。